

玉東町人口ビジョン【概要版】

. 人口の現状

2014年の人口 5,517人

最近の人口変動

人口変動要因	2014年	2005～2014年の10年間
自然増減	30人	340人
社会増減	37人	+31人

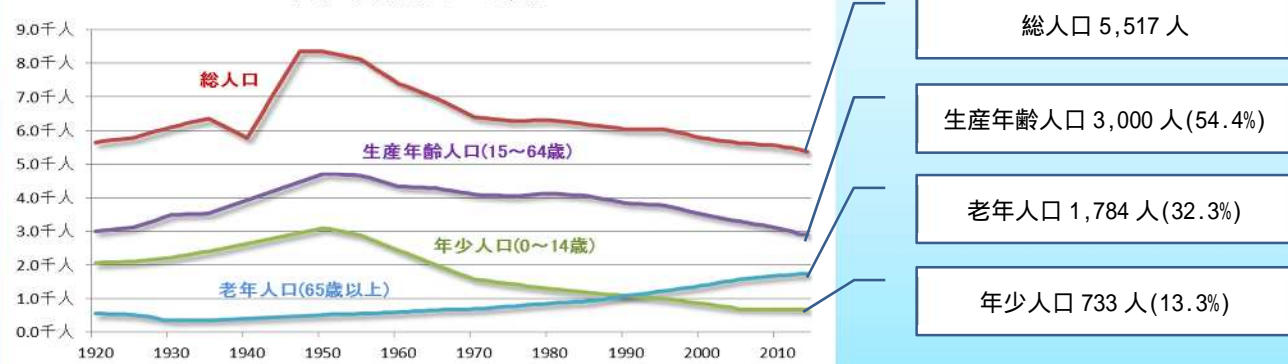
自然増減

合計特殊出生率 1.56(全国1.42) 2005年(1.38)からは上昇
1993年以降死亡数が出生数を上回っている。

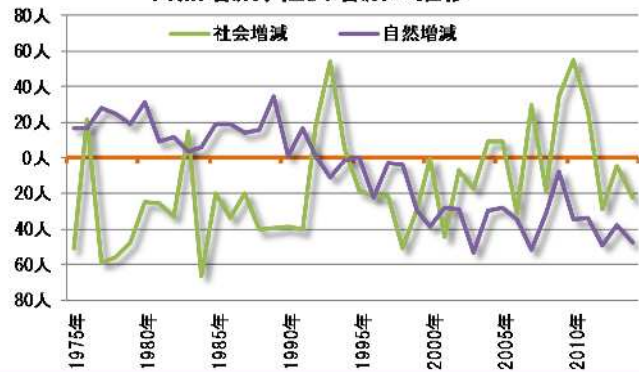
社会増減

転出超過先 玉名市18人、福岡県11人、関東11人。
オレンジタウン事業(H17年～)の成功により、社会増減はこの10年で人口増加。とりわけ、0～9歳の年少人口の増加が目立つ。
ベッドタウン化が進み、昼間人口は減少。 昼夜間人口比率は、熊本県の市町村で2番目に低い。

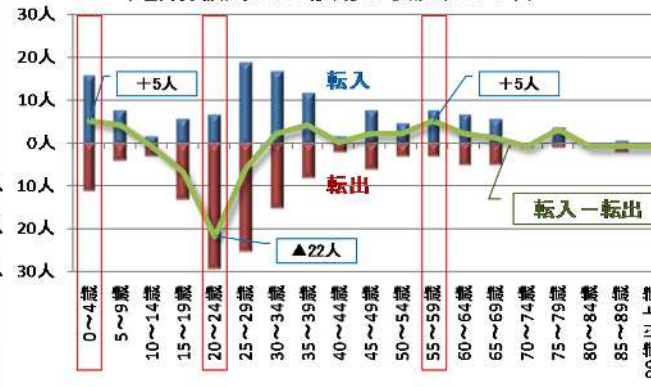
年齢3区分別人口の推移



自然増減、社会増減の推移



年齢階級別人口移動の状況(2014年)



熊本県の市町村の昼夜間人口比率(%)

市町村	比率(%)
山江村	76.7
玉東町	80.6
球磨村	82.4
津奈木町	82.8
氷川町	83.4
...	...
西原村	103.9
人吉市	107.3
五木村	110.7
大津町	113.9
嘉島町	115.5

玉東町から他市町村への通勤・通学者数(人)

熊本市	680
玉名市	632
荒尾市	60
和水町	46
菊池市	44
山鹿市	41
合志市	41
長洲町	37
大牟田市	30
南関町	20
その他	62
総数	1,706

住民の転入・転出の意向

	住民アンケート(1,000世帯対象、535世帯回答)		転入 - 転出
	5年以内のUターン見込み	5年以内の転出見込み	
男女計	42	21	21
男性	28	10	18
女性	14	11	3

転入見込みが大幅に上回っている。
過去に転出している男性のUターン見込みが大きい。
女性の転出見込みも多いことは懸念材料。

. 人口の将来展望

2060年の人口 4,049人

このまま何も対策を講じなければ、2060年の人口は3,198人まで減少する。

(国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計準拠)

【人口減少の影響】

- 生産年齢人口の減少に伴う生産力の低下や地域活動の担い手不足。
- 地域経済の縮小。
- 地域社会の基盤の維持困難による地域コミュニティの衰退。
- 人口減少が招く上記諸現象の悪循環。

めざすべき 将来の方向

- . 新しい仕事づくり
- . まちへの新しいひとの流れづくり
- . 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- . 安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

【将来展望の仮定】

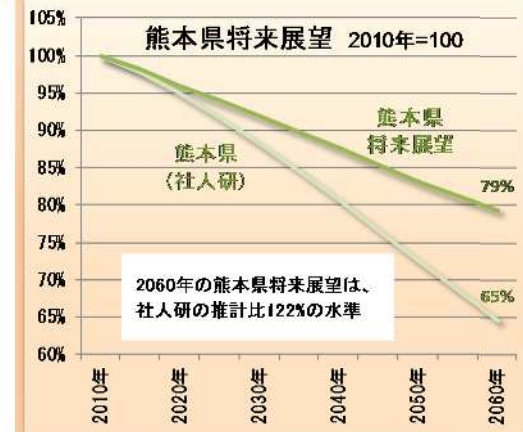
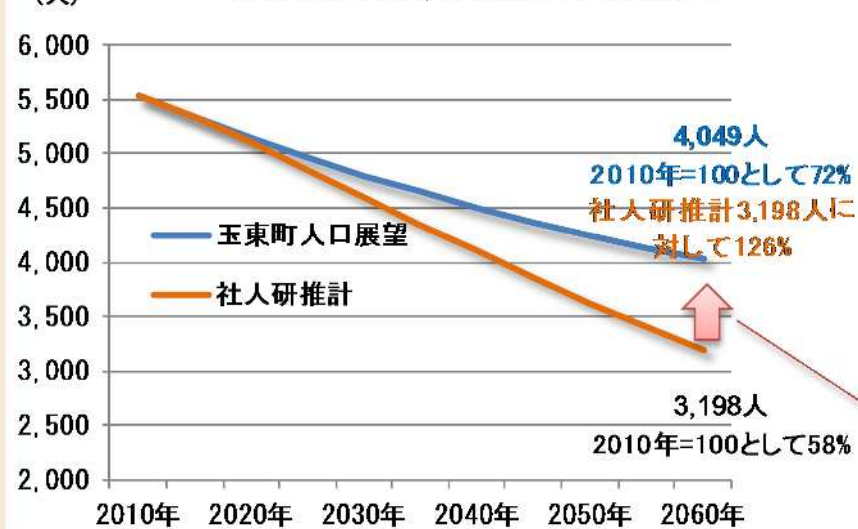
合計特殊出生率	2020年	1.8
	2035年	2.0
	2050年	2.1

社会増減	2020年まで	直近実績の0.5倍
	2060年まで	住民希望の実現 (転入増加見込み)

【将来展望】

2060年の人口 4,049人

玉東町人口の長期推計と将来展望



851人の人口減少抑制